

会津若松市行政
提案型協働事業
「市民活動中間支
援機能強化事業」
事業報告

NPO Links あいづ

事業開始前の中間支援のイメージ仮説

- 市民活動を行いたい市民は、市民活動を行いたいのではなくて、自分達が行いたいことを行いたいのではないか？（仮説）
- 行政の窓口は「機能別」に分かれているから、自分達が行いたいことへの対応は難しいのではないか？
- 例）株式会社を創りたければ商工課へ。NPOならば男女共同参画室へ。高齢者ならば高齢福祉課。観光ならば観光課。。。

事業開始前の中間支援のイメージ仮説

- でも市民側は「オブジェクト指向」。何をしたいのかが先に来て、それを行うには結果として株式会社が良いのか、NPOが良いのかという順番。⇒最初からNPOを創りたいという相談にはなり難い。
- となれば、ここをワンストップで受けて内容をブラッシュアップし、機能別になった市の担当課と打ち合わせややり取りができる所までサポートする機能が必要ではないか。

動画

- 12月に行った伴走支援先（制服リサイクル事業）がテレビ取材を受けた際の動画。
- 支援先が誰も取材対応できない（話せない）ということなので、伴走支援（広報支援）として私に対応しました。

事業展開からわかったこと（中間支援ができること）

例）あいづみどりの会（会津を元気にする会からスピンアウト）の制服リサイクル事業



【買取対象学用品】
制服、運動服、スモック、
コート、リュックなどの
学校指定品。

ランドセルや健康ハーモニカ、
笛、絵の具セットなどは
買取対象ではありません。
団体を通じて園内外の
子どもたちに寄付します。

今後は、
販売も行います！

＼会津地域の幼稚園から高校までの/
**制服などの学校指定品の
買取を始めます！**

【会場】コミュニティステーション テコ
【日時】2/21(日)10:00-16:00
3/26(金)18:00-20:00、3/27(土)・28(日)10:00-16:00
4/16(金)18:00-20:00、4/17(土)・18(日)10:00-16:00



① 制服を
ご準備ください
会津地域の学校の制服などが対象で
す。
ガタンや付属品はご持参ください。
入り汚れやほつれ等はそのままOK。
クリーニング不要です。

② テコに
ご持参ください
未成年者、保護者同伴で
お参りします。
身分証明書をご持参ください。
(運転免許証や保険証など)

③ 査定・現金払い
いたします
査定額にご了承いただける場合は
必ず検閲にご記入いただき、
身分証明書をご提示ください。
査定には15分程度かかります。

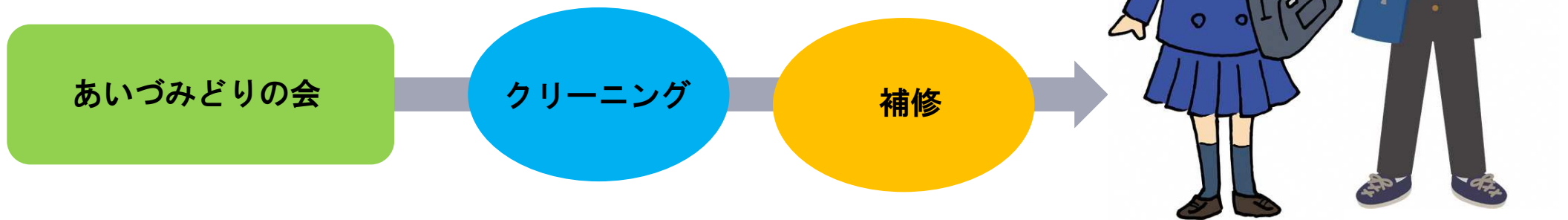
会津を元気にする会
TEL：090-1931-5607（まさや）
18時以降にお願いします。

【買取事業者名】CROSS ARTZ 代表 船木大
住所：大沼都会津美里町黒川19
TEL：090-9533-4109 / 18時以降にお願いします。
古物商許可 福島県公安委員会 第251190000163号

事業展開からわかったこと（中間支援ができること）

例）あいづみどりの会（会津を元気にする会からスピンアウト）の制服リサイクル事業

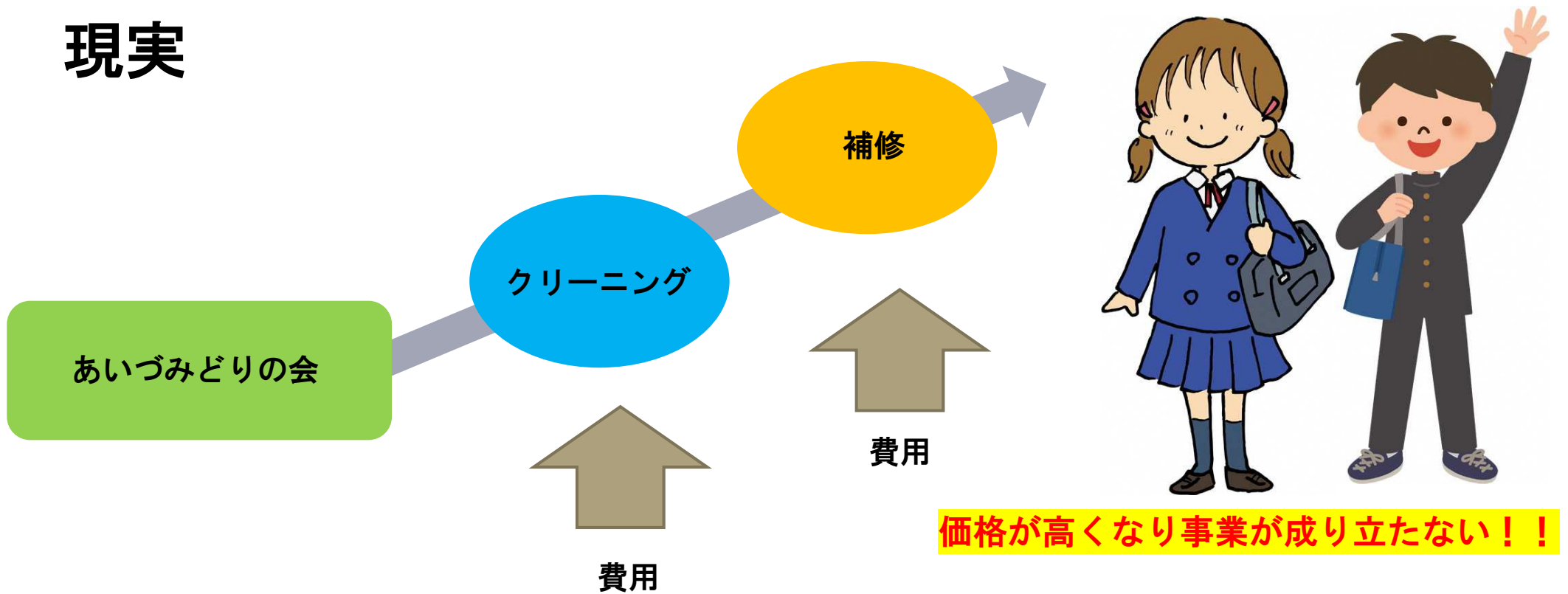
想定



事業展開からわかったこと（中間支援ができること）

例）あいづみどりの会（会津を元気にする会からスピンアウト）の制服リサイクル事業

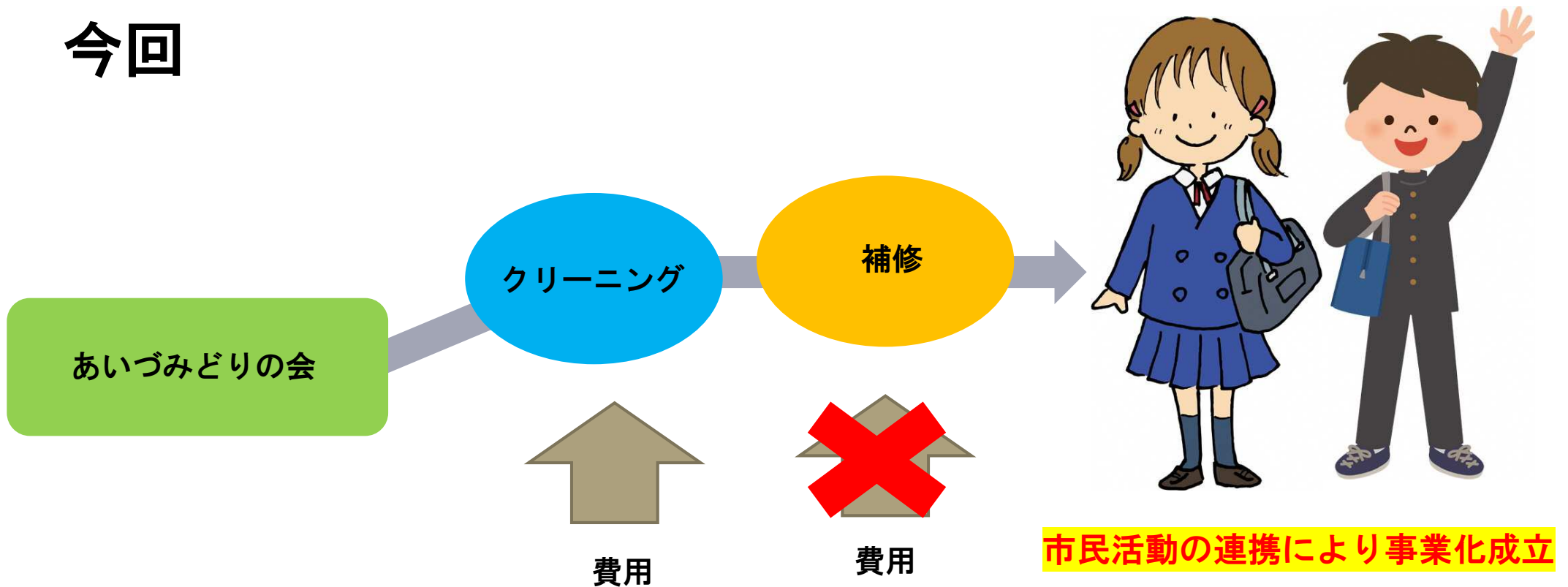
現実



事業展開からわかったこと（中間支援ができること）

例）あいづみどりの会（会津を元気にする会からスピンアウト）の制服リサイクル事業

今回



事業を行って 中間支援でできること

- 団体間の連携に協力することで、より有効な取り組みを行うことが可能になる。
- では「あいづ帽子の会」はなぜ協力してくれたか？ ⇒ 事業計画が創れない。事業や団体運営ができない。 ⇒ 今までであれば事業計画書の書き方を教える。場合によっては代行して書いてあげる。 ⇒ しかしそれでは「喉の乾いた人に水をあげる」だけで、また繰り返しになる。 ⇒ 「喉の乾いた人には井戸の掘り方を教える」ための伴走支援。
- 会津若松市のスマートシティに関わる企業から「社会実証実験の民側のポータル」の打診。
- なお、仮説はある程度正しいという認識を深めた。

事業を行って 中間支援で取り組みたいこと

- 地域内における中間支援の必要性を改めて強く感じた。
- 特にこの機能を恒常的に常設させるための取り組みを行いたい。
- 法人化（NPO法人）を想定して活動中。
- 会津若松が中間支援に本気で取り組むことを県内外に目に見える形で示す。

事業を行って 中間支援で取り組みたいこと

- 南相馬市で行っていたプッシュ型の支援システムは是非取り入れたい。
- センター側が独自に市内の市民公益活動団体の情報を整理し、それを保管している。事務機能等が弱い小さな市民公益団体が、何かへの申請や報告などを行う際に、センターに行けば団体ごとに資料が整理されている。
- そのためまた多くの情報が集まり、それが故に団体も集まって来るという良い形のサイクルができています。

